

星になった宮沢賢治(後編2)

京都薬科大学 名誉教授 桜井 弘

賢治、親友の保坂嘉内と宇宙で再会：小惑星『14447保坂嘉内』

19歳となった宮沢賢治(1896－1933)は、1915(大正4)年4月に、念願の盛岡高等農林学校農林科第2部(1918年に農芸化学科となった)に入学しました。主任教授で地質鉱学専門の関豊太郎(1868－1955)の講義を受け、これが動機となり、賢治は科学への道へと進むことになりました。賢治は入学とともに、寄宿舎の自啓寮南寮の第1室に入り、規則正しく、まじめに勉学に励むとともに、週末には盛岡近郊の山野を巡り、鉱物採集、地形観察や星の観察をしました。翌年の1916年の2年生になると、自啓寮南寮の第9室に移り、新入学の保坂嘉内(1896－1937)ら5名とともに暮らしました。

嘉内は、山梨県北巨摩郡駒井村の出身で、新しい農業や農村の未来を語る青年でした。1910年に山梨県立甲府中学校(現在の山梨県立甲府第一高等学校)に進み、英文学者・随筆家・天文民俗学者として知られていた野尻抱影(1885－1977)¹⁾に英語を教わり、文芸同人誌に作品を発表していました。中学入学の年にハレー彗星の最接近を観察しスケッチを残したことはよく知られています。賢治は嘉内と親しくなり、親友と考えるようになりました。岩手山に登った二人は、星空を眺めながら夜通し語り合い、「人々のほんとうのしあわせのために生きよう」と誓いました。嘉内は郷里でハレー彗星(写真1)を観察したスケッチを賢治に見せ、彗星はまるで銀河を横切る夜行列車のようなのだと説明したとされています。スケッチには「銀漢ヲ行ク彗星ハ夜行列車ノ様ニニテ遙カ虚空ニ消エニケリ」と書かれています。²⁾ 嘉内のこのスケッチは、後に賢治の『銀河鉄道の夜』のモチーフになったのではと考えられています。3年生になると賢治と嘉内らは、文芸好きな仲間とガリ版誌『アザリア』を発行し、短歌や散文を書きました(写真2)。³⁾ 1918年の『アザリア』で、嘉内は過激と見られた文章を掲載したため、退学処分となり、故郷の山梨へ帰ってしまいました。親友を失った賢治の悲しみは想像できないほど、大きいものでした。その後、賢治と嘉内は手紙で交流を続けますが、東京で一度会った限りで、生涯共



写真1. 1910年のハレー彗星
(https://en.wikipedia.org/wiki/Halley's_Comet)

に会うことはありませんでした。

しかし、1992年に円館金と渡辺和郎により北海道で発見された小惑星1992VLは、嘉内が亡くなった75年後の2012年4月に14447「Hosakakanai」と命名されました。嘉内が残した1910年のハレー彗星のスケッチが天文学上の貴重な資料と認められたことに由来するそうです。こうして、賢治はようやく宇宙で親友嘉内と再会できました。ロマンあふれる物語です。



写真2. 菅原千恵子著『宮沢賢治の青春』
(角川文庫)

北上川で生徒たちと泳ぐ賢治：小惑星『32858北上川』

25歳になった賢治は、1921(大正10)年12月から稗貫郡立稗貫農学校(現在の岩手県立花巻農業高等学校)の教諭となり、化学、数学、英語、土壌、肥料と農業実習(水田稲作)を担当しました。このころから詩作をはじめ、『春と修羅 第二集』⁴⁾の序では「この四ヶ年はわたしにとって じつに愉快的明るいものでありました」と語っています。

翌年の8月に生徒と花巻町小船渡の北上川の岸辺で泳ぎ、この地をイギリスのドーバー海峡の地層とよく似ているためイギリス海岸と名づけました。賢治は、ここで第三紀層泥炭層から偶蹄類(2本や4本など偶数のひづめを持つほ乳類の総称、牛、鹿、猪など)の足跡やクルミの化石を発見しています。賢治の実家から北上川までは歩いて20分ほどのところにあり、賢治にはなじみ深い川でした。1925年11月には、東北大学の早坂一郎助教授をイギリス海岸へ案内し珍しいバタグルミを採集して、その成果が1926年に『地質雑誌』に発表されました。

1993年に関 勉により発見された小惑星1993BA3は、岩手県から宮城県に流れる美しい北上川に因んで、2012年に32858「Kitagamigawa」と命名されました。北上川とイギリス海岸は、賢治の童話『イギリス海岸』⁵⁾で次のように紹介されて



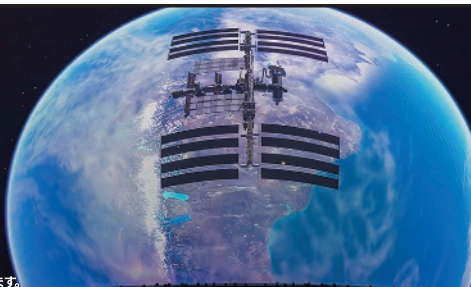
私たちは「宇宙」を作っている会社です。

— プラネタリウム生誕100周年 —

最新の光学・デジタル プラネタリウム機器の開発・製造から、独自の番組企画・制作・運営ノウハウに至るまで、プラネタリウムという“スペース”の可能性を追求し続けてまいります。

コニカミノルタ プラネタリウム株式会社

本社・東京事業所 〒170-8630 東京都豊島区東池袋3-1-3 TEL (03) 5985-1711
大阪事業所 〒550-0005 大阪府大阪市西区西本町2-3-10 TEL (06) 6110-0570
東海事業所 〒442-8558 愛知県豊川市金屋西町1-8 TEL (0533) 89-3570
URL: <http://www.konicaminolta.jp/planetarium/>



画像：大阪市立科学館

います。

「夏休みの十五日の農場実習の間に、私どもがイギリス海岸とあだ名をつけて、二日か三日ごと、仕事が一きりつくたびに、よく遊びに行った処^{ところ}がありました。

それは本とうは海岸ではなくて、いかにも海岸の風をした川の岸です。北上川^{きたかみ}の西岸^{さん}でした。東^{さん}の仙人峠^{せんじん}から、遠野を通り土沢を過ぎ、北上山地^{北上}を横截^{よこぎ}つて来る冷たい猿ヶ石川^{さるいし}の、北上川への落合^{おちあ}から、少し下流^{しも}の西岸^{さん}でした。」

賢治が生徒たちと北上川のイギリス海岸で楽しく泳いでいるのどかな風景が、目に浮かんでくるようですね。

(続く)

[引用文献とノート]

- 1) 1985年3月に野尻抱影の天文学への功績を讃えて、小惑星1938WAは3008Nojiriと命名された。1930年に新惑星が発見され、Plutoと命名されたが、野尻は日本語名の冥王星を提案した。この名前は現在、中国や東アジアでも共通に使われている。
- 2) 保坂嘉内の彗星のスケッチは、<https://azalea-4.blog.ss-blog.jp/2007-10-24>を参照
- 3) 菅原千恵子『宮沢賢治の青春』角川文庫(1997)
表紙写真の右上が宮沢賢治、左上が保坂嘉内。右下は河本義行と左下は小菅健吉。この4人が『アザリア』の中心であった。
- 4) 『宮沢賢治全集1』ちくま文庫(1996)
- 5) 『宮沢賢治全集6』ちくま文庫(1996)

桜井 弘

大阪市立科学館 <https://www.sci-museum.jp/>

電話: 06-6444-5656 (9:00~17:30)

長期休館中(～2024年夏まで)

所在地: 〒530-0005 大阪市北区中之島4-2-1



星の輝きで伝えることがある
五藤光学研究所 ■ 全天候デジタル配給作品

GOTO

五藤光学研究所
<https://www.goto.co.jp/>

まだ見ぬ 宇宙へ

企画: 大阪市立科学館
©「まだ見ぬ宇宙へ」製作委員会